

CBTトライアル平成25年度報告

遠藤大二 森田達志 高井伸二

トライアル実施場所

- 2014年1月 日本獣医生命科学大学
 - 受験者 85名 5年生
 - 全員 iPad
 - 60問 60分 5ブロック
- 2014年2月 麻布大学
 - 受験者 136名 4年生
 - Windows / iPad 併用
 - 60問 60分 2ブロック

日本獣医生命科学大学で生じた問題

- 無線アクセスポイントの接続時の混雑
- 試験時間が余り回答時間が長すぎる傾向

麻布大学での問題点

- 同時試験開始時のサーバーの処理能力不足
- 一部の問題で表示が不完全
 - α などの記号の欠落
 - 図の欠落
 - 選択肢の欠落
- 試験時間が余り回答時間が長すぎる傾向
- Linux操作能力のある担当者が必要との操作上の制約

2013年度トライアルを受けたCBTシステムの改善

- 処理能力の向上
 - システムの一部入れ替え
- 試験問題の欠落を防ぐ
 - 精選終了問題を抽出するプログラムの作成
 - 試験問題を目視確認する部会の設置
- 担当者のLinuxスキルを過度に求めない
 - サーバーのノートパソコン化

2014年度トライアルに向けて

- 16大学受験を前提に準備
- CBTシステムの告知を進める
- CBTシステムにできるだけ触れていただく
- 各大学の準備を支援

CBT担当者講習会

- 9月12日 大学院獣医学研究科 本館2階
- 9:00～12:00
- eラーニング室
- 各大学 1 CBTサーバーを用意して 実際にシステムに触れていただく
- CBTの仕組みをご理解いただき、トライアルに必要なとなる操作の概略を体験いただく
- CBTトライアルの実施に向けた情報交換をいただく
 - iPadの共同利用など